療育教室から発信

はっぴい新聞

児童発達支援　放課後等デイサービス

エイビイシイ ひまわり教室
社会福祉法人杉の子会

12月号
2023 vol.45

児童発達支援

言葉の力

言葉には特別な力があると言われますが、皆さんは日頃どのように感じていらっしゃいますか？「言霊」がよぎる方もいらっしゃるのではないでしょうか？

言葉がけ1つで、次の行動にも大きく変化が見られますね。幼児期は経験すべきことを環境の中から選ぶ感受性がとても敏感になる時期です。保護者の方も日常生活で子どもの言動に驚くことも多くあることと思います。

マイナス言葉（否定的な言葉）は、プラス言葉（肯定的な言葉）の7倍の力があるといわれます。数年後、子どもは成長に伴い保護者の言葉よりも、友達の言葉に大きく影響を受ける時期をむかえます。お互いに友達同士、色々な言葉を交わし、友達を褒めたり、励ましたり、お礼を伝えたり、自分の考えを伝えたりします。その時に今まで子どもに培われてきた言葉が出てきます。その後の友達の関わりにとても影響するのではないでしょうか？

子どもは、幼稚園・保育園でいろんな言葉を聞いてきます。ご家庭でも好ましく思えない発言が沢山あることと思います。そんな時は余裕がある限り多くのマイナス言葉をプラス言葉に変換して子供の耳に返してほしいものです。とは言いつつ、保護者も人間ですのでいい時ばかりではないでしょう。大人がネガティブな感情・気持ちを切り替える参考にさせていただければ幸いです。

1）1日1回、自分を褒めるための目標を立てる。
（例えば「笑顔で挨拶をする」目標を立て、実行することで自分を肯定でき褒めることができる。）
2）ポジティブな人の近くにいる。
3）周囲の人の意見に耳を傾ける。（自分の意識に変化をつける）
4）ポジティブな自分を具体的にイメージする。

1週間は168時間。そのうちにひまわり教室に来る時間はほんのわずかです。言葉がとっさに出るようご家庭で意識し取り組んでいただければ幸いです。

子どもにかける言葉

いいかげんにしなさい	→あと何分で終われそう？
ちょっとまって	→あと◯分だけ待っててね（具体的な数字を伝える・砂時計など使う）
うるさい！	→声を「これくらい」にしてくれる？（実例をあげる）
走っちゃダメ	→歩こうね（やってほしいことを伝える）
早く支度しなさい	→5分で終われば、あと10分遊べるよ（時計・砂時計を実際見せる）
あー、もう、だから言ったでしょう？	→どうすればよかったっけ？
何度いったらわかるの！	→どうしたらいいとおもう？（具体案を引き出す）
（こぼした時）拾って！	→人参にげちゃったよ～つかまえてくれる？
（失敗した時）あーあ、もう！	→雑巾で拭けば大丈夫だよ（対処法を）
もう！早く帰るよ！	→あと10、待つね
（転んで）痛くない痛くない	→痛かったね（共感すると早く治まる）
そんなこと言っちゃダメ！	→そうか～イヤなんだね～（感情を否定しない）
もう知らない！	→どうすればわかるかお母さんにおしえて
なにやってるの！	→大物だね～！一緒に片付けようか

Instagram　You Tube

https://abc24.jp

放課後等デイサービス

工作：ハロウィン工作

ねらい…指示理解、微細運動、約束の遵守

10月4週目の活動は、ハロウィン工作でした。
写真は、かぼちゃバッグ、パタパタコウモリの玩具、ストローコウモリの飾りです。
ハロウィンが好きな子どもたちは、「今日は何を作るの？」と楽しみにしていました。
説明を聞いた後、ハサミやテープ、のりを使って作ります。分からない人は、挙手をして質問する約束です。
「友達や家族の分も作る！」と張り切って2つ作ったり、まずは1つを丁寧に作ったりと人それぞれです。
時間をかけて手作りしたので、完成すると子ども達の表情に達成感が見られました。「見て！できたよ！」と誰かに見せたり、動かして遊んだりして、コミュニケーションが広がりました。
このように、工作の週は、手先の課題に苦手意識があっても、完成品を見て「作りたいな。少し頑張ってみようかな。」と思える課題を用意しています。

運動：ボウリング

ねらい…粗大運動、動作模倣、協調運動

11月1週目の活動は、運動を行いました。
まずは、フォーム練習です。ボディイメージを掴むために、指導員の手本を見たりコツを聞いたり。実際に投げて動きを修正していきます。最初は、ぎこちないフォームで投げていた児童も段々とスムーズに投げられるようになってきました。
名前を呼ばれてから前に出て、ラインに立ちます。
気合を入れて一投目！
練習通り、綺麗なフォームで転がすことができました。

見事ストライクを出すと、みんなが笑顔で喜びました。
倒れたピンは、児童が交代しながら立てます。

このように、運動の週は、生活動作の土台となる粗大運動やボディイメージを育むプログラムを用意しています。
階段の昇降がスムーズになった、自転車に乗れるようになった、縄跳びが跳べるようになったなど、お子様の成長に変化がございましたら是非教えていただけると幸いです。

子育てハート便

保育士　苅米

こんにちは。ひまわり教室で指導員をしております苅米絵里と申します。
先日小学校5年生の息子のサッカーの大会がありました。小学校1年生の頃から地域のチームに所属していて、私もたびたびある試合を観に行くのを楽しみにしています。
私自身は学生時代、個人競技のスポーツをしていましたが、子どもにはチームで仲間とやるスポーツをやったら楽しいだろうな、と思いサッカーをやってみる？と子どもに勧めました。1つのスポーツを続けていると、少しずつでも一歩一歩成長していく子どもの様子が見られるのが嬉しいですが、チーム競技では、同じチームの仲間の子達の成長も一緒に見られたり、チームメイト同士の絆が深まっているなと思える場面に立ち会うことが出来るのがとても幸せなことだと思えます。これからも仲間と一緒に切磋琢磨していってほしいと思います。

WISC-Ⅳ
知能検査
得意と不得意のでこぼこを知る

対象：5歳～16歳11ヶ月
料金：5,000円
公認心理師：金井